

2.1.2. キシリウム SSC SL ツールドフランス用ホイールのリアアクスル

必要なツール

- 17 mm フラットレンチ
- 10 mm アレンキー
- トルクレンチ (17 mm ソケット付き)
- ハブレンチ M40123

1. ハブレンチ M40123 を使って、遊び調整ナットを 1 回転緩めます。このとき、アクスルの端を 17 mm フラットレンチで押さえて、アクスルを再び取り付けるときにベアリングを傷つけないようにします。
2. フリーホイールの反対側のフォークサポートナットを外し、アクスルの内側に 10 mm アレンキーを差し込みます。
3. 17 mm フラットレンチを使って、フリーホイール側のアクスルの先のナットを緩めます。このとき、10 mm アレンキーでアクスルを押さえておきます。
4. フリーホイールの反対側からアクスルを取り外します。

注意：この時点で、フリーホイールボディを簡単に取り外すことができます。

5. アクスルを交換し、10 mm アレンキーとトルクレンチ (17 mm ソケット付き) を使って取り付けます (10 Nm トルク)。
6. フリーホイールの反対側のアクスルの先に、フォークサポートを取り付けます。
7. ホイールにカセットを取り付け、そのホイールをフレームに取り付けます。クイックリリースを締め、ハブレンチ M40123 を使ってベアリングの遊びを調節します。



2.2. コスモス、キシリウム エキップ、クロスランド、クロスマックス エンデューロ、クロスマックス エンデューロ ディスク ホイールのフリーホイールボディ

必要なツール

- 5 mm アレンキー
- 17 mm フラットレンチ
- 13 mm フラットレンチ
- 17 mm ソケット (トルクレンチ用)
- 5 mm アレンキー ソケット (トルクレンチ用)

このタイプのハブでは、フリーホイールボディの交換の前に、アクスルを取り外す必要はありません。

1. 17 mm フラットレンチと 5 mm アレンキーを使って、フリーホイール側のフォークサポートナットを取り外します。
2. FTS-L フリーホイールボディを以下の手順で取り外します。
 - 2.1. FTS-L フリーホイールボディを外側へ、それ以上動かなくなるまで (約 4 mm) 引っ張ります。
 - 2.2. 爪とスプリングを押さえながら、FTS-L フリーホイールボディを回し、ハブアクスルからそっと引き抜きます。

注意：FTS-L フリーホイールボディを分解する際、ラチェットの爪とスプリングは固定されていないため、飛び出す恐れがあります。爪を手で抑えておくと、飛び出すのを防ぐことができます。

3. スプリングと爪を取り外し、クリーニングします。
4. 必要であればリップシールを交換し、リップを外側に向けてハブのノーズに取り付けます。マヴィックミネラルオイル M40122 をリップに塗ります。
5. FTS-L フリーホイールボディキットの内側のコグ部分に注油します (マヴィックミネラルオイル M40122 を、ラチェットの目盛り 3 個分まで注ぎます)。
6. スプリングと爪を組み立て (スプリングを爪の中央部にあるピンに合わせる) ます。スプリングと爪を組み立てたものを、アクスルに触れるように丸い側に取り付けます。そして、組み立てた爪 / スプリングを旋回させ、正しく動くことを確認します。
7. FTS-L フリーホイールボディキットを以下の手順で取り付けます。
 - 7.1. スパースワッシャー M40067 (キットに 10 個付属) を FTS-L フリーホイールボディの内側に入れます。このスパースワッシャーがないと、フリーホイールボディが正しく機能しません。
 - 7.2. 手でローの位置で爪を押さえながら (スプリングを押さえて)、FTS-L フリーホイールボディを取り付けます。
8. 手順 2.1.1.に従って、アクスルキットを取り付けます。



フリーホイールボディは、年に 1 - 2 回、またはノイズが発生したら、注油することをお勧めします。注油の手順は上記のとおりです。